

経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

当社は、摩擦・潤滑・材料技術を基盤として、エンジニアリングの基礎をなす独自性のある製品を時流に先んじて創り出すことでお客様に貢献し、社会の繁栄に寄与することを基本理念としています。また、スピードある「開かれた経営」を行い、株主・顧客・社員の信頼と期待に応え、社会とともに成長発展をめざすことを念頭において経営をいたしております。

(2) 目標とする経営指標

当社は、株主資本利益率(ROE)を6%超にすることを目標としております。具体的には次の(3)中長期的な会社の経営戦略および対処すべき課題で述べております方策を着実に実施し、今後の目標達成をめざします。

(3) 中長期的な会社の経営戦略および対処すべき課題

環境保全における社会的ニーズの高まる中、競争の熾烈化やアルミ・銅などの原材料の高騰、グローバル化の促進等により、当社を取り巻く環境は、ますます厳しさを増しております。

このような状況のなかで、当社は、'06年度から'08年度を中期として、中期経営計画を策定し、中期経営方針に「技術革新・生産革新により、世界競争を勝ち抜く」、スローガンに「自ら創造、自ら挑戦」を掲げ、更なる事業の成長、およびグループ全体における経営基盤強化に向けて取り組んでおります。特に'07年度は、「自ら考え『変えること』に挑戦」を年度重点方針として、展開を進めております。

具体的実施事項として、国内事業につきましては、'05年4月に設立した「大豊岐阜株式会社」にて、更なる生産拡大対応のため、'06年8月に第2工場を設立、競争力強化に向けた生産効率の向上を図ってまいります。「大豊精機株式会社」におきましては、従来の設備事業に加え、新規事業(自動車部品)の立上げ時の投資負担等により収益を圧迫しましたが、着実に収益が回復に向かっており、'07年度は、黒字化する見込みです。

また、海外事業につきましては、当社の100%出資子会社である「タイホウコーポレーション オブ アメリカ」は、米国の自動車部品メーカー「Federal Mogul」と設立したガスケット製造合弁会社「TF Global Gasket, LLC」を解散し、米国における当社顧客へのガスケット供給を継続すべく、米国第2の生産拠点として、「Taiho Manufacturing of Tennessee LLC」を設立致しました。これにより、ガスケット事業の体制強化、および米国における更なる経営基盤の強化を進めてまいります。

また、中国における生産体制の強化として、当社の子会社「大豊工業(煙台)有限公司」において、第2工場の建設をスタートし、'07年8月に完成を予定しております。これにより、中国における生産体制強化を図ってまいります。